

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	療育支援ルームボンデイ		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 14日		～ 2025年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2025年 2月 14日		～ 2025年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムの立案	<ul style="list-style-type: none"> ・月案会議では、学校予定や児童の出席、人員配置等を確認し、安全に、安定して過ごす事のできる活動内容を検討している。 ・週案を作成し、活動の「参加児童」「ねらい」「実施する内容」「使用物品」等を全職員が把握できるように努めている。 ・日々の振り返り(児童の様子の共有)の他に、週1回活動内容についての振り返りを行い、次回以降の改善に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の特性を理解し、安全に使用できる物品を検討することで、活動の幅を狭めないようにする。 ・子ども達にとっての「見え方」「感じ方」を考えた活動準備ができるようにする。
2	環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・予定の掲示等、視覚的支援を用いて児童が安心して過ごす事のできる環境設定を行っている。 ・自立に向け、自発的に行動できるように、視覚的支援を活動室内に掲示している。 ・机の向きやロッカーの向き等を工夫することで、目に移る情報を調節し、やるべきことに集中できる環境を整えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クールダウンをしたいときに、他児や支援員と距離をとって過ごせる場を作る。
3	研修への参加	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内研修では事業所全体で参加し、意見交換の場を設けている。 ・経験年数に合わせた他機関の研修に参加し、事業所に情報を持ち帰り、活動に活かしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で開かれている研修に参加することで、地域課題にも着目して学びを深められるようにする。 ・学校公開等に参加し、児童の学校での様子を理解する。 ・高校の見学等を通して、児童の将来についても保護者とともに考えられるようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の交流の場が設けられていない。 ・家族が勉強できる機会の提供が定期的の実施できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会や保護者勉強会の機会を設ける。また、地域で行われている研修の情報発信を行う。 ・保護者参観や保護者参加行事を設けることで、子どもの特性の理解や関わりについて学んでいただける機会の提供を行う。
2	地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・徒歩圏内に、放課後等デイサービスや学童等の施設がなく、交流の機会を設けられていない。 ・地域に住民がおらず、開かれた事業所運営を行えていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣にある特別支援学校とは、毎日の児童の引継ぎだけでなく、学校行事にも参加をすることで交流を深める。また、学校からの見学等の受入れを行う。 ・同じエリアで運営している法人内の事業所と協力して地域との関わりを増やす。
3	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練等、活動時に実施している内容について、保護者の方に発信できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳アプリを使用し、情報発信を月1以上行えるように担当を定める。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 療育支援ルームボンデイ

公表日 2025年3月21日

利用児童数

13

回収数

10

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	1			・活動中の様子を見たことが無く、判断しにくいです。	・2025年度は、日常の子ども達の様子や支援を見ていただける日を設けたいと考えております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	7	1	1	1	・活動中の様子を見たことが無く、判断しにくいです。 ・急な閉所はないようお願い致します。	・急な閉所について大変ご迷惑をおかけしました。事業所として感染対策に努めてまいります。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	1			・活動中の様子を見たことが無く、判断しにくいです。	・使用する活動室によって活動内容を変えるなど工夫して支援しております。また、視覚的な支援を必要最低限掲示することで、安心して過ごせる環境を整えています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10					
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等サービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10					
	8 放課後等サービス計画には、放課後等サービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10					
	9 放課後等サービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	0	5	3	2		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10					
	13 「放課後等サービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	1	3			
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	10					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9		1			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	1				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	5	2			
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10					(未回答：2)	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10				(未回答：2)	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7			1	(未回答：2)	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7			1	(未回答：2)	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7			1	(未回答：2)	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	2		1	(未回答：2)	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	1		1	(未回答：2)	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7			1	(未回答：2)	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8				(未回答：2)	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8				(未回答：2) ・ボンデイの先生、お友達との時間をとても楽しみに通所しています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	8				(未回答：2) ・成長に繋がることを考えて下さって支援していただいています。大変有難いです。	・日頃より、ご家族の皆様にはご理解・ご協力をいただきましてありがとうございます。 来年度、より充実した1年を皆様と過ごせませう、今回いただいたご意見をもとに改善を図り運営していきたいと考えております。 どうぞよろしく願っています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名						公表日	2025年 3月 21日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		・利用児の年齢が上がるにつれて、室内での粗大運動は難しいが、外での活動を交えることで問題なく過ごすことができている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	・配置基準を満たしている。 ・限られた職員でも安全に運営できるように、日々コミュニケーションをとっている。	・利用児童の成長に合わせて同性介助ができる人員配置について検討していきたい。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		・バリアフリーにはなっていないが、利用児の状態から問題ない。 ・活動室が2つあることで、場面と行動を促し、安心して過ごせる場の提供が行えている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		・毎日活動前、活動後に清掃を行い、清潔を保っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1	・必要に応じて別室対応を行っている。	・トイレ以外に一人で気持ちを落ち着かせる場所がないため、今後空間づくりに工夫を行い、安心して過ごせる場の提供を検討していく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		・毎週の打ち合わせ及び振り返りにて、情報共有を実施している。	・非常勤講師への情報共有について、スムーズに情報伝達ができる方法を考えていきたい。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			・評価表の内容については職員へ周知し、来年度の方針等について意見交換の時間を設け、業務改善に努める。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・活動の振り返り及び会議を設けることで、職員から意見を聞く場を設けている。また、改善については期日を設けて実施。また、次回会議で状況確認を行うことで、適切に対応できるようにしている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	・実施無。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・法人内研修にて資質の向上を図っている。	・地域開催の勉強会への参加をすることで、地域課題にも目を向けられるようにしていきたい。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		・法人ホームページ及び連絡ツールアプリにて公開している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		・検討会議には児童発達支援管理責任者と担当職員、またその他支援員も参加し、利用児童の将来に向けた計画内容について検討している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		・計画作成後は職員に共有している。また、毎月の会議で計画に沿って支援ができているか見直しを行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			・「移行支援」及び「地域支援・地域連携」については、実行に移すための具体的な内容について事業所として検討していく。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		・月1回の月案会議と週1回の週案会議に職員が参加し立案している。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		・月案会議にて、継続して経験を積む活動と、新しく取り入れたい活動について意見を出し合い、実践している。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		・様々な視点で児童の課題と向き合い、チーム分けや個別対応を行っている。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		・打ち合わせにて役割や担当児童の確認を行うことで、安全な支援の実施を目指している。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		・特記事項は当日の夕礼にて確認を行っている。 ・毎週月曜日に1週間の振り返りを実施し、活動内容の見直しを行っている。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		・個別支援計画の内容については、ケース記録に取っており、その他内容については業務日誌及び週案に記録を取り、改善に繋げている。		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4				
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4				
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		・子どもの発達に合わせ、写真や絵カードを用いて選択の機会を作っている。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	1			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4				
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4			・情報共有については、基本的に保護者を通して行っている。 ・送迎時のトラブルなどには都度ご協力をいただいている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1		・今年度は1年生の新規利用児がおらず、行っていないが、必要に応じて情報共有に努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		4			・現在まで卒業生がおらず、実施していないが、今後情報共有の方法等を検討していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	2		・区より、センターが実施している研修の情報を得て、参加を検討している。 ・放デイの連絡会に参加し、区の状況把握に努めている。	・来年度は区の研修に参加できるように応援職員の依頼など、支援体制を整える。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4			・同じ地域に児童館等がないため、交流の機会を設けられていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		4		・協議会への参加はできていないが、放デイ連絡会に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			・連絡帳で本人の様子についてやり取りを行っている。また、気になる点については保護者に質問をし、ご家庭での様子を伺っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4			・個別に対応している。 ・区からの研修案内等を配布し、情報提供に努めている。	・来年度、事業所にて家族勉強会を開催予定。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4					
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			・引継ぎ時や連絡帳、面談時等に伺い、把握に努めている。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4					

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		・連絡帳でのやり取りや電話、面談等、家庭の状況に合わせて実施している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4		・保護者参加行事は台風により中止となっている。来年度は保護者参加行事や参観日等を設定して交流の機会を設ける。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		・契約時に周知し、相談場所として事業所以外にも、区の相談先をお伝えしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		・毎月の活動内容については、アプリにて通知している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		・事業所周辺に居住がなく、行えていない。 ・事業所近くにある学校と交流を深めていきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		・事業所にあったマニュアル作成を行っている。 ・実践を交えた研修や、利用児童とともに避難訓練を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		・契約更新時にフェイスシートの記入を依頼し、把握に努めている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		4	・給食等の提供を行っていない為、診断書及び指示書の確認を行っていない。 ・調理実習などを実施する際は、保護者から申告がある食物アレルギーについては除去をして対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		・安全計画の年間計画に沿って、研修や訓練等を実施している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	2		・実施した訓練について、参加した保護者にのみ伝達していたため、全体に向けて情報を発信する機会を作って行けるよう、来年度より改善を図る。現時点では、毎月のお便りの作成を検討している。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		・法人で行う研修に必ず参加できるよう、勤務体制を整えている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		・面談時に利用児の状態、身体拘束の方法について詳しく説明し、了承を得ている。 ・計画に記載し、別紙でより詳しい内容についてご説明している。		